

## 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

### 1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線）2632
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL		<a href="http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html">http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html</a>
指 定 期 間		平成25年4月1日～平成30年3月31日

### 2 施設の利用状況等について

項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館等日（日）	244	307	289	269	
延べ利用者数 通所（人）	2,827	2,734	2,867	2,623	
前年度比（人）		△93	133	△244	
前年度比（%）		96.7	104.9	91.5	
延べ利用者数 自主事業（人）	291	984	2,267	2,362	
前年度比（人）		693	1,283	95	
前年度比（%）		338.1	230.4	104.2	
利用料金 合計 通所（千円）	2,451	2,374	2,542	2,296	
前年度比（千円）		△77	168	△246	
前年度比（%）		96.9	107.1	90.3	
利用料金 合計 自主事業（千円）	871	2,006	2,225	2,328	
前年度比（千円）		1,135	219	103	
前年度比（%）		230.3	110.9	104.6	

### 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項 目		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収 入	指定管理料	13,781	13,287	13,640	13,927	
	利用料金収入	2,451	2,374	2,542	2,296	
	自主事業収入	871	2,006	2,225	2,328	
	収入計	17,104	17,667	18,407	18,551	
支 出	人件費	9,268	10,646	10,604	10,210	
	維持管理経費	4,526	5,361	5,156	5,244	
	自主事業関係経費	9,091	4,425	2,624	2,225	
	その他の支出	0	0	0	0	
	支出計	22,885	20,432	18,384	17,679	
収支 (収入－支出)		△5,781	△2,765	23	872	

### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート (実施時期や具体的な方法など)
サービス向上のために、利用者への寄り添う気持ちを大事にし、常にコミュニケーションを取るよう心がけています。会話の中からニーズを収集し、利用者の満足度や心身の状況を把握しています。自主事業では、講座終了後にアンケートを実施し、意見の反映ができるよう、取り組んでいきます。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
特例で週3回通所されている利用者がいます。他の方も3回通所したいという要望がありましたが、催し物などがある場合にお誘いして、センターを3回通所していただいています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など (取組の内容、効果など)
通所事業では、自立支援に必要な自己選択、自己決定をしていただけるよう、さまざまな選択肢を用意しています。そのためには、選択肢が認識しやすく、覚えやすい工夫、環境づくりに力を入れ、また季節行事や外出行事も取り入れ、活気あるプログラムが行えました。 自主事業は、認知されつつあり、他者とのコミュニケーションの場としても活用されています。昨年夏には、2回目のクラシックコンサートを開きました。地域の方が楽しめる交流場として今後も活動していきます。 介護学院の研修も小規模ながらも継続しております。今年度は東京都の介護職員初任者研修資格取得支援事業を西多摩地域で初めて受託し、市民の方の資格取得の促進に貢献することが出来ました。また就労支援も行い、微力ながらも介護の人材不足の解消の一翼を担うことが出来ました。今後も更なる活動を広げていきたいと思えます。

### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
光熱費に対しては、不要な電気は消す等、小さいことからコツコツ職員全員で節電に心がけました。常勤職員、パート職員とも残業時間が増えないように業務を工夫しました。 通所では、利用者の不用品の寄付をいただき、活動で使用しています。 今後も継続して行っています。

### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所、自主事業共に今後も利用者の増加が見込まれるため、施設の整備や修繕を適宜行っていく必要があると考えます。「高齢者の施設」のイメージをなくし、高齢者だけではなく、異世代交流や地域交流の場として今後も事業を継続していきたいと考えております。また介護職員初任者研修では、今後ますます需要が高まる介護職の人材確保の為に、継続的に実施していきます。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
通所事業では、常に利用者とのコミュニケーションを図り、利用者のニーズに合った活動や自立支援に必要な自己選択ができるよう様々な選択肢を用意し、高齢者の自立支援を意識した活動ができています。自主事業では、他者とのコミュニケーションの場としても活用され、地域のセンターとして機能しています。介護職員初任者研修についても継続して実施するとともに、就労支援も行い、介護人材の確保に貢献しており、評価できます。高齢者の増加とともに、介護サービスのニーズが高まり、人材の確保が必要不可欠となります。今後も、継続して実施していただくことを期待します。	
経費削減の取組	
積極的な節電やリサイクル品の活用により、経費の削減に努めています。施設管理においても、法人全体で経費削減に取り組んでおり評価できます。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
通所事業・自主事業ともに様々な工夫を凝らし、利用者等のニーズにあった事業が展開できていますが、利用者の増加につながるように、今後も啓発・広報活動を積極的に実施してください。なお、事業の実施に当たっては、収支のバランスを意識し計画的に進めてください。	
総合評価	<b>A</b>

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。